



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月14日

上場会社名 株式会社アイリッジ 上場取引所 東
 コード番号 3917 URL http://iridge.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小田 健太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CF0兼管理グループ長 (氏名) 英 一樹 TEL 03-6441-2325
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|-------|---|------|---|------|---|----------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年3月期第2四半期 | 2,426 | — | △76 | — | △75 | — | △79 | — |
| 2019年3月期第2四半期 | 1,982 | — | △108 | — | △105 | — | △97 | — |

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △79百万円 (—%) 2019年3月期第2四半期 △96百万円 (—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期第2四半期 | △12.02 | — |
| 2019年3月期第2四半期 | △14.90 | — |

- (注) 1. 2019年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。
 2. 当社は2019年3月期より決算期を7月31日から3月31日に変更しました。これに伴い、2020年3月期第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日）は、比較対象となる2019年3月期第2四半期連結累計期間（2018年8月1日から2019年1月31日）と対応する期間が異なることから、対前年同四半期増減率は記載していません。
 3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載していません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2020年3月期第2四半期 | 3,408 | 2,735 | 72.3 | 371.91 |
| 2019年3月期 | 3,520 | 2,806 | 72.1 | 385.29 |

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 2,465百万円 2019年3月期 2,541百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 2020年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2020年3月期（予想） | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|---|------|---|------|---|---------------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 5,500 | — | 250 | — | 250 | — | 120 | — | 18.19 |

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 2019年3月期は決算期変更に伴い8か月の変則決算となっておりますので、対前期増減率は記載していません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2020年3月期2Q | 6,628,400株 | 2019年3月期 | 6,596,400株 |
| ② 期末自己株式数 | 2020年3月期2Q | 127株 | 2019年3月期 | 127株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2020年3月期2Q | 6,607,682株 | 2019年3月期2Q | 6,568,892株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、2019年3月期より決算日を7月31日から3月31日に変更いたしました。これに伴い、当第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から同年9月30日）と比較対象となる前第2四半期連結累計期間（2018年8月1日から2019年1月31日）の期間が異なるため、対前年同四半期連結累計期間との比較については記載しておりません。

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善が持続していることを背景に、個人消費が持ち直し、緩やかな回復基調が継続しております。一方で世界経済においては、通商問題の動向、金融資本市場の変動の影響等、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループは、企業向けにスマートフォンアプリを軸にしたデジタルマーケティングを行っております。企業のデジタルマーケティングへの取り組みは良好で、デジタルマーケティングサービス市場規模は、2016年の30,315百万円から2022年には63,900百万円にまで拡大する予測となっております（注1）。

このような事業環境の中で、当社は2018年5月以降、複数の業務資本提携を進め、当社グループの事業領域は拡大、次の3領域を中心に、相互にシナジーを図りながら事業を進めております。

- イ スマートフォンをプラットフォームとしたO2O（注2）アプリの開発、マーケティング支援を主とするO2O領域
- ロ 電子地域通貨プラットフォーム「MoneyEasy」の提供を通じたフィンテック領域
- ハ 不動産テック（Residential Technology）市場への住宅・住生活関連ソリューションの提供を進めるライフデザイン領域

当第2四半期連結累計期間の売上高は2,426,984千円となり、通期業績予想に対する進捗率は44%程度となりました（第1四半期末時点の進捗率は15%程度）。これは第2四半期連結会計期間に大型案件のリリースが続いたことによるものです。また、第2四半期末時点の仕掛品残高は連結ベースで前年9月末比2倍程度と積みあがっており、例年売上が最大となる3月に向け順調に進捗しております。

当第2四半期連結累計期間は営業赤字であるものの、7月～9月の第2四半期連結会計期間単独では黒字に転じており、期初に掲げた「足元の課題、対応方針」への取り組みは順調に進捗、第3四半期以降も引き続き改善が進む見込みです。

具体的には、プロジェクトマネージャー、エンジニアを中心とした人材採用及び開発会社のM&Aにより、土壌となる開発体制の強化は順調に進捗しております。粗利率につきましては、個別案件のリリースタイミングにより上下はあるものの、引き続き改善していく見通しです。中期の取り組みである収益のストックシフトについては、「popinfo」からファン育成プラットフォームとしてブランドリニューアルした「FANSHIP」の推進、音声UIアプリ（注3）の提供や電子地域通貨プラットフォーム「MoneyEasy」の機能拡張・提供、等を継続して進めております。

この結果、売上高2,426,984千円、営業損失76,867千円となり、経常損失は75,743千円、親会社株主に帰属する四半期純損失は79,410千円となりました。

（注1）出典：矢野経済研究所「DMP/MAサービス市場に関する調査（2017年）」

（注2）O2O（オンラインtoオフライン）とは、消費者にインターネット（オンライン）上のwebサイトやアプリを通じて情報を提供し、実店舗（オフライン）への集客や販売促進に繋げることをいいます。

（注3）音声UI（User Interface：音声ユーザーインターフェイス）アプリとは、Amazon Echo等のAIスピーカーで提供する、ユーザーが音声で操作するアプリケーションのことをいいます。

当社グループは、O2O関連事業を単一の報告セグメントとしており、その他の事業については量的重要性が乏しいため、記載を省略しております。

そのため、当社グループの販売実績を、サービス別に「月額報酬」と「アプリ開発、コンサル、プロモーション等」に区分しております。

| サービスの名称 | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) | |
|---------------------|---|------------|
| | 販売高 (千円) | 構成比 (%) |
| 月額報酬 | 336,832 | 13.9 |
| アプリ開発、コンサル、プロモーション等 | 2,090,152 | 86.1 |
| 合計 | 2,426,984 | 100.0 |

月額報酬は、

- a. FANSHIPのサービス利用料（利用ユーザー数に応じた従量制）
- b. アプリのシステム保守料等

から構成されております。

アプリ開発、コンサル、プロモーション等は主に、

- a. アプリの企画・開発に伴う収入
- b. アプリマーケティングに伴う収入
- c. 広告・販売プロモーションに伴う収入

から構成されております。

当第2四半期連結累計期間の販売高は2,426,984千円、内訳として、月額報酬は336,832千円、アプリ開発、コンサル、プロモーション等は2,090,152千円となりました。

月額報酬につきましては、FANSHIPを軸としたストック型ソリューションの展開・開発強化（マルチチャネルプラットフォーム化）等により、売上高に占める構比率を高めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比べて112,032千円減少の3,408,489千円となりました。これは主に現金及び預金が368,376千円減少、電子記録債権が119,958千円減少したものの、受取手形及び売掛金が188,279千円増加、開発受託案件に対する仕掛品が113,797千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は前連結会計年度末と比べて41,440千円減少の672,788千円となりました。これは主に買掛金が36,962千円減少、支給に伴う取り崩しにより賞与引当金が15,166千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は前連結会計年度末と比べて70,591千円減少の2,735,700千円となりました。これは主に利益剰余金が79,410千円減少したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、330,329千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動により使用した資金は264,168千円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失の計上75,743千円、たな卸資産の増加113,797千円、売上債権の増加68,321千円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動により使用した資金は、110,033千円となりました。これは主に、「FANSHIP」の開発等に伴う無形固定資産の取得による支出109,991千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動により得られた資金は、5,825千円となりました。これは主に、新株予約権の権利行使に伴う株式の発行によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月15日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 698,706 | 330,329 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,055,195 | 1,243,475 |
| 電子記録債権 | 196,239 | 76,280 |
| 仕掛品 | 84,784 | 198,582 |
| その他 | 40,107 | 100,417 |
| 流動資産合計 | 2,075,032 | 1,949,085 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 47,220 | 38,471 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 560,227 | 535,511 |
| ソフトウェア | 239,502 | 285,561 |
| ソフトウェア仮勘定 | 1,527 | — |
| その他 | 426 | 399 |
| 無形固定資産合計 | 801,683 | 821,471 |
| 投資その他の資産 | | |
| 繰延税金資産 | 390,882 | 394,795 |
| その他 | 205,701 | 204,664 |
| 投資その他の資産合計 | 596,583 | 599,459 |
| 固定資産合計 | 1,445,488 | 1,459,403 |
| 資産合計 | 3,520,521 | 3,408,489 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 479,980 | 443,018 |
| 未払法人税等 | 13,242 | 10,647 |
| 賞与引当金 | 69,076 | 53,909 |
| 資産除去債務 | — | 11,819 |
| その他 | 109,610 | 122,893 |
| 流動負債合計 | 671,909 | 642,288 |
| 固定負債 | | |
| 資産除去債務 | 42,319 | 30,500 |
| 固定負債合計 | 42,319 | 30,500 |
| 負債合計 | 714,229 | 672,788 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,057,552 | 1,060,465 |
| 資本剰余金 | 1,150,174 | 1,153,087 |
| 利益剰余金 | 332,264 | 252,854 |
| 自己株式 | △218 | △218 |
| 株主資本合計 | 2,539,773 | 2,466,187 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,685 | △1,045 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,685 | △1,045 |
| 新株予約権 | 2,711 | 5,700 |
| 非支配株主持分 | 262,121 | 264,856 |
| 純資産合計 | 2,806,291 | 2,735,700 |
| 負債純資産合計 | 3,520,521 | 3,408,489 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年8月1日 至 2019年1月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 1,982,509 | 2,426,984 |
| 売上原価 | 1,416,333 | 1,800,843 |
| 売上総利益 | 566,176 | 626,141 |
| 販売費及び一般管理費 | 674,291 | 703,008 |
| 営業損失(△) | △108,115 | △76,867 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 6 | 3 |
| 受取配当金 | — | 150 |
| 受取手数料 | 490 | 603 |
| その他 | 2,947 | 399 |
| 営業外収益合計 | 3,444 | 1,156 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | — | 32 |
| 為替差損 | 392 | — |
| 株式交付費 | 455 | — |
| その他 | 5 | — |
| 営業外費用合計 | 852 | 32 |
| 経常損失(△) | △105,522 | △75,743 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △105,522 | △75,743 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,740 | 2,435 |
| 法人税等調整額 | △13,256 | △2,186 |
| 法人税等合計 | △11,515 | 248 |
| 四半期純損失(△) | △94,006 | △75,992 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 3,844 | 3,418 |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △97,851 | △79,410 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年8月1日 至 2019年1月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純損失(△) | △94,006 | △75,992 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △2,991 | △3,413 |
| その他の包括利益合計 | △2,991 | △3,413 |
| 四半期包括利益 | △96,997 | △79,405 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △100,244 | △82,141 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 3,246 | 2,735 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年8月1日 至 2019年1月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) |
|--------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △105,522 | △75,743 |
| 減価償却費 | 51,716 | 67,345 |
| のれん償却額 | 24,715 | 24,715 |
| 株式報酬費用 | 1,509 | 2,989 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △12,036 | △12,239 |
| 受取利息及び受取配当金 | △6 | △153 |
| 株式交付費 | 455 | — |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △367,502 | △68,321 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △67,316 | △113,797 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 151,987 | △35,025 |
| 前払費用の増減額(△は増加) | △10,269 | △23,876 |
| 未収入金の増減額(△は増加) | 678,207 | 277 |
| 前渡金の増減額(△は増加) | △254 | △46,860 |
| 未払金の増減額(△は減少) | △46,055 | △11,551 |
| 未払費用の増減額(△は減少) | 3,962 | △9,347 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | △5,755 | 10,938 |
| 未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少) | △320 | △1,783 |
| 前受金の増減額(△は減少) | △4,245 | 34,127 |
| 預り金の増減額(△は減少) | 2,308 | △9,460 |
| その他 | △4,487 | 192 |
| 小計 | 291,089 | △267,575 |
| 利息及び配当金の受取額 | 6 | 153 |
| 法人税等の還付額 | 17,284 | 3,253 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 308,379 | △264,168 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △28,459 | — |
| 無形固定資産の取得による支出 | △102,150 | △109,991 |
| 長期前払費用の取得による支出 | △1,681 | — |
| 投資有価証券の取得による支出 | △32,743 | — |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | △1,480,000 | — |
| 差入保証金の差入による支出 | △3,252 | △41 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,648,287 | △110,033 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 新株予約権の行使による株式の発行による収入 | 13,594 | 5,825 |
| 自己株式の取得による支出 | △30 | — |
| 非支配株主からの払込みによる収入 | 129,545 | — |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 143,108 | 5,825 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △1,196,798 | △368,376 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,037,533 | 698,706 |
| 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額 | 4,889 | — |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 845,625 | 330,329 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、〇二〇関連事業を単一の報告セグメントとしており、その他の事業については量的重要性が乏しいため、記載を省略しております。